

平成23年度の自動車不具合情報の統計結果について

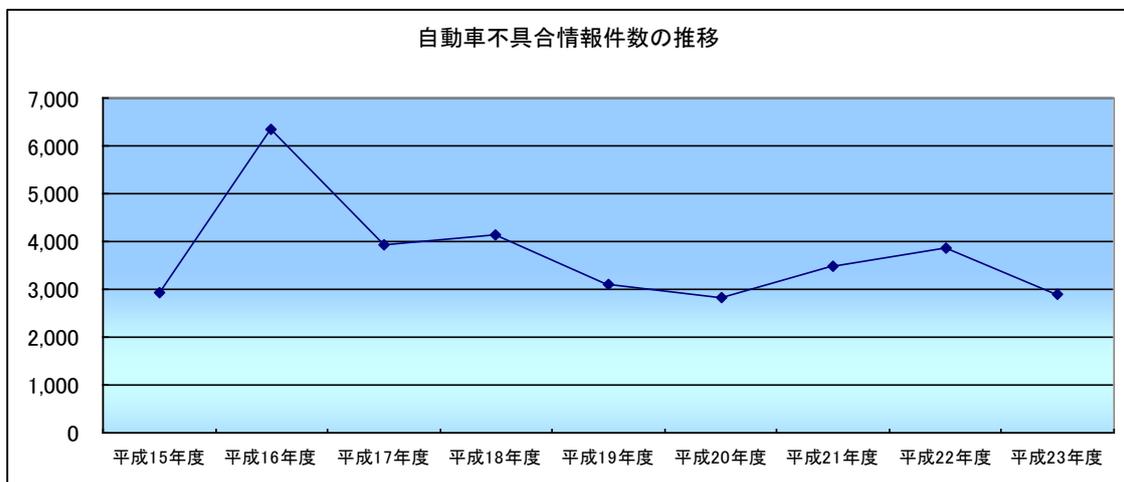
国土交通省の自動車不具合情報ホットライン (<http://www.mlit.go.jp/RJ/>) に自動車ユーザー等から寄せられた市場での自動車不具合情報について、平成23年度の統計結果を公表いたします。

なお、本自動車不具合情報は、設計又は製造に起因するものに限られておらず、整備不良やユーザーの誤使用など他の要因に起因する可能性があるものも含まれています。また、本統計はあくまでユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容の事実関係を保証しているものではありません。

1. 平成23年度に国土交通省の自動車不具合情報ホットラインに寄せられた不具合情報（以下、「不具合情報」という。）の件数は5,610件であり、そのうち有効な不具合情報の件数は（以下「不具合情報件数」という。）2,906件である。不具合情報件数の推移状況は、平成16年度をピークに減少傾向であったが、平成21、22年度と増加し、平成23年度は減少した。

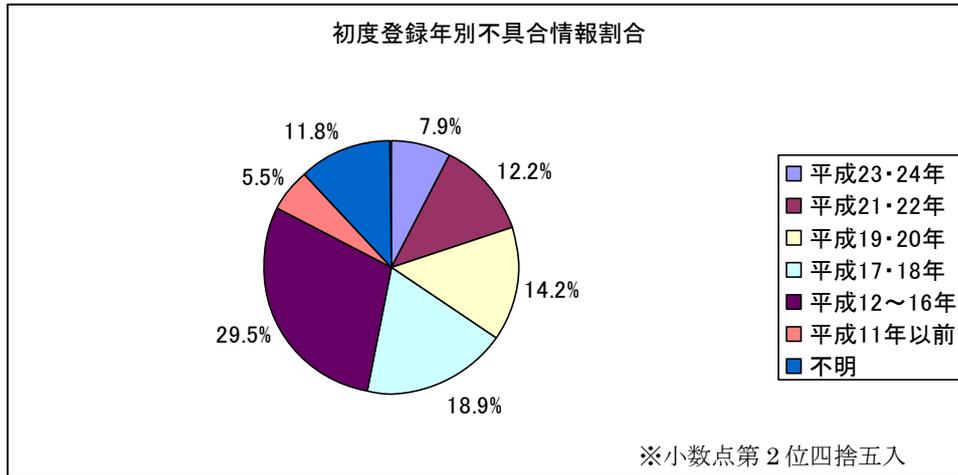
平成16年度は、三菱自動車の不正行為が明らかとなった年であり、当該メーカーの自動車に関する情報が数多く寄せられたことから不具合情報件数が急増したものである。

また、平成21年度の不具合情報件数の増加は、トヨタ自動車のハイブリッド車の制動装置不具合をきっかけとしてリコールに対する社会的な関心が高まった結果、ユーザーから多くの情報が寄せられたと考えられ、平成22年度においてもその状態が継続し、平成23年度には収束したと考えられる。



年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
件数	2,925	6,361	3,934	4,150	3,110	2,837	3,493	3,862	2,906

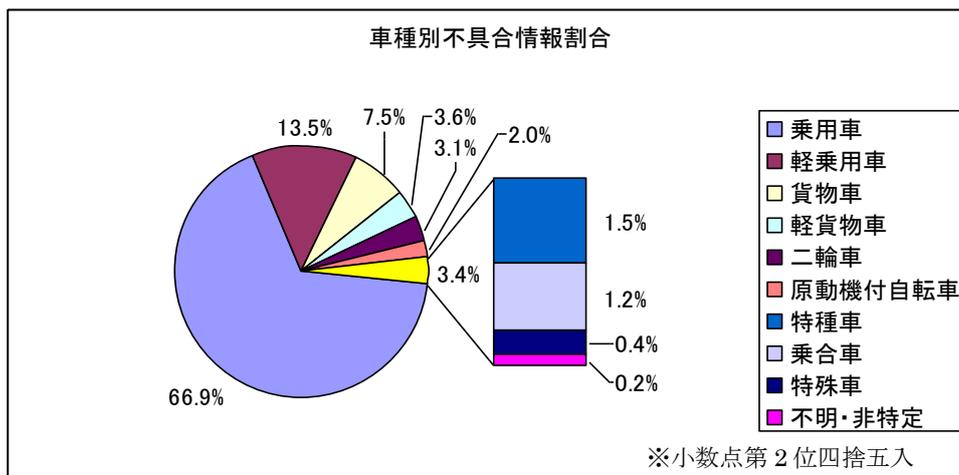
2. 初度登録年別不具合情報件数は、初度登録年が平成12年から平成16年の自動車に関する自動車不具合情報件数が856件と全体の29.5%と最も多く、次いで、平成17・18年548件、平成19・20年413件の順となっている。初度登録年後の概ね5年以上経過した自動車に関わる不具合情報件数が全体の半数以上を占めている。



初度登録年別	平成23・24年	平成21・22年	平成19・20年	平成17・18年	平成12～16年	平成11年以前	不明	合計
件数	230	354	413	548	856	161	344	2,906

3. 車種別不具合情報件数は、乗用車の1,944件が全体の66.9%と最も多く、次いで、軽乗用車393件、貨物車217件の順となっている。

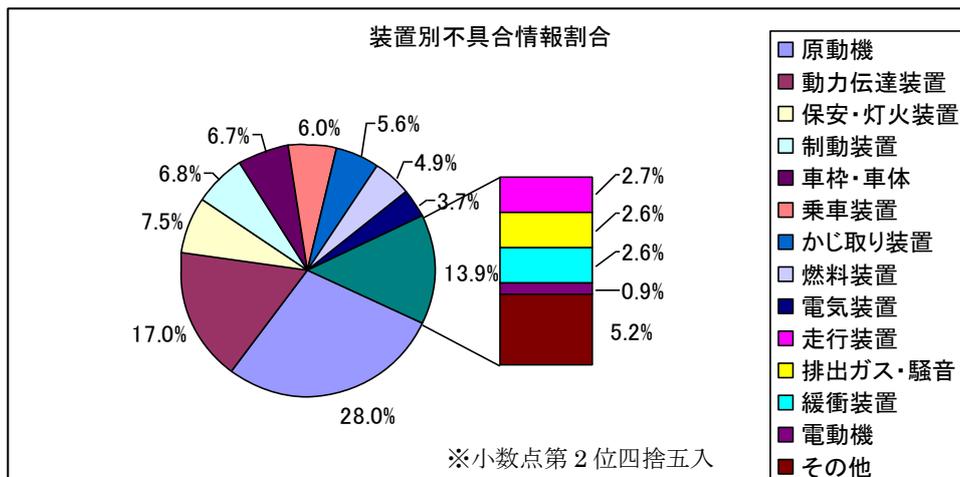
これは、自家用乗用車を使用する一般のユーザーから不具合情報が寄せられる割合が高く、また、乗用車の保有台数40,135千台が全保有台数82,324千台（平成23年3月末現在）の約48.8%であることにも関係しているものと考えられる。



車種別	乗用車	軽乗用車	貨物車	軽貨物車	二輪車	原付車	特種車	乗合車	特殊車	不明・非特定	合計
件数	1,944	393	217	105	90	59	45	35	12	6	2,906

4. 装置別不具合情報件数は、原動機の814件が全体の28.0%と最も多く、次いで、動力伝達装置494件、保安・灯火装置217件、制動装置198件、車枠・車体194件、乗車装置174件、かじ取り装置163件、燃料装置142件、電気装置107件、走行装置78件、排出ガス・騒音76件、緩衝装置75件、電動機25件の順となっている。

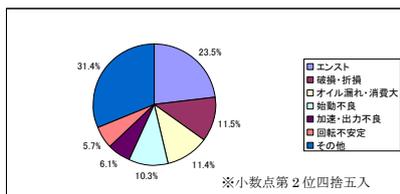
また、不具合情報件数の多い装置について詳細を見ると、原動機の不具合事象はエンスト191件、動力伝達装置の不具合事象は変速しない106件、保安・灯火装置の不具合事象はパワーウインド不良34件がそれぞれ最も多かった。



装置別	原動機	動力伝達装置	保安・灯火装置	制動装置	車枠・車体	乗車装置	かじ取り装置
件数	814	494	217	198	194	174	163

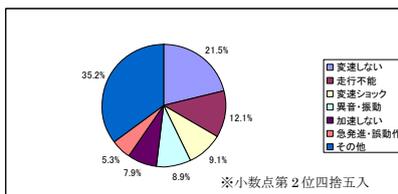
燃料装置	電気装置	走行装置	排出ガス・騒音	緩衝装置	電動機	その他	合計
142	107	78	76	75	25	149	2,906

1. 原動機



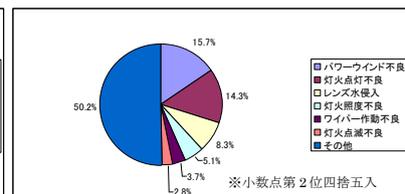
順位	不具合事象	件数
1	エンスト	191
2	破損・折損	94
3	オイル漏れ・消費大	93
4	始動不良	84
5	加速・出力不良	50
6	回転不安定	46
	その他	256
	合計	814

2. 動力伝達装置



順位	不具合事象	件数
1	変速しない	106
2	走行不能	60
3	変速ショック	45
4	異音・振動	44
5	加速しない	39
6	急発進・誤動作	26
	その他	174
	合計	494

3. 保安・灯火装置

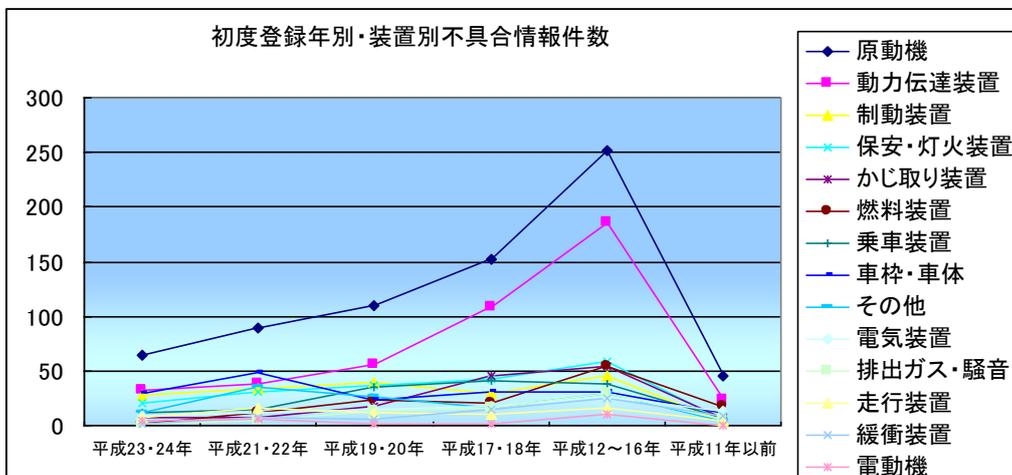


順位	不具合事象	件数
1	パワーウインド不良	34
2	灯火点灯不良	31
3	レンズ水侵入	18
4	灯火照度不良	11
5	ワイパー作動不良	8
6	灯火点滅不良	6
	その他	109
	合計	217

走行距離	10,000km以下	件数	10,001~50,000km	件数	50,001~100,000km	件数	100,001km以上	件数
1	原動機	84	原動機	201	原動機	262	原動機	155
2	制動装置	42	動力伝達装置	135	動力伝達装置	180	動力伝達装置	87
3	動力伝達装置	40	保安・灯火装置	77	かじ取り装置	61	燃料装置	52
4	車枠・車体	30	車枠・車体	66	乗車装置	50	排出ガス・騒音	28
5	保安・灯火装置	25	乗車装置	63	保安・灯火装置	50	制動装置	27
6	電気措置	12	かじ取り装置	57	制動装置	43	保安・灯火装置	25
7	かじ取り装置	9	制動装置	56	燃料装置	39	乗車装置	20
8	燃料装置	9	電気装置	37	車枠・車体	36	緩衝装置	18
9	乗車装置	9	燃料装置	29	緩衝装置	28	電気装置	18
10	排出ガス・騒音	5	走行装置	23	電気装置	26	かじ取り装置	15
11	走行装置	3	排出ガス・騒音	18	排出ガス・騒音	21	走行装置	15
12	緩衝装置	3	緩衝装置	15	走行装置	19	車枠・車体	14
13	電動機	2	電動機	0	電動機	11	電動機	8
	その他	18	その他	44	その他	27	その他	16
	合計	291	合計	821	合計	853	合計	498

7. 初度登録年別・装置別不具合情報件数は、全ての区分で原動機が最も多く、平成21・22年を除き動力伝達装置が2番目に多くなっている。

初度登録年の区分別に不具合情報件数の多い順を見てみると、初度登録年が平成12年から平成16年の原動機252件、次いで平成17・18年の原動機152件となっている。登録後概ね5年超での原動機に関する不具合情報が著しく多くなっている。また、動力伝達装置についても、初度登録年が平成12年から16年で186件、平成17・18年で109件と経年によって不具合情報が多くなる傾向が見られる。



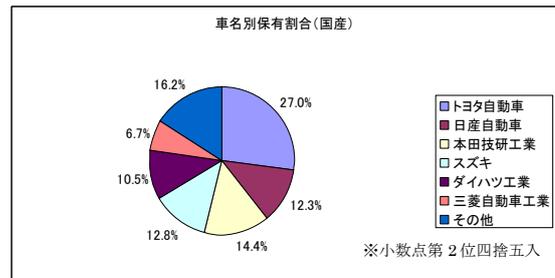
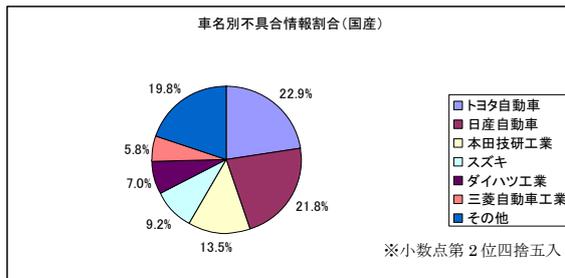
初度登録年別	平成23・24年	件数	平成21・22年	件数	平成19・20年	件数
1	原動機	64	原動機	90	原動機	110
2	動力伝達装置	32	車枠・車体	48	動力伝達装置	55
3	車枠・車体	30	動力伝達装置	38	制動装置	39
4	制動装置	28	制動装置	34	保安・灯火装置	37
5	保安・灯火装置	20	保安・灯火装置	31	乗車装置	35
6	乗車装置	12	走行装置	16	燃料装置	23
7	電気装置	9	乗車装置	14	車枠・車体	23
8	走行装置	8	燃料装置	12	かじ取り装置	17
9	かじ取り装置	7	電気装置	11	電気装置	15
10	電動機	5	かじ取り装置	7	排出ガス・騒音	13
11	燃料装置	2	緩衝装置	7	走行装置	12
12	緩衝装置	1	電動機	6	緩衝装置	6
13	排出ガス・騒音	1	排出ガス・騒音	5	電動機	2
	その他	11	その他	35	その他	26
	合計	230	合計	354	合計	413

初度登録年別	平成17・18年	件数	平成12～16年	件数	平成11年以前	件数
1	原動機	152	原動機	252	原動機	45
2	動力伝達装置	109	動力伝達装置	186	動力伝達装置	24
3	かじ取り装置	45	保安・灯火装置	59	燃料装置	17
4	保安・灯火装置	43	かじ取り装置	54	電気装置	13
5	乗車装置	41	燃料装置	54	車枠・車体	12
6	車枠・車体	31	制動装置	45	緩衝装置	9
7	制動装置	29	乗車装置	38	かじ取り装置	8
8	燃料装置	21	車枠・車体	31	乗車装置	8
9	電気装置	18	排出ガス・騒音	29	排出ガス・騒音	6
10	排出ガス・騒音	16	電気装置	27	保安・灯火装置	6
11	緩衝装置	15	緩衝装置	25	制動装置	5
12	走行装置	10	走行装置	16	走行装置	4
13	電動機	2	電動機	10	電動機	0
	その他	16	その他	30	その他	4
	合計	548	合計	856	合計	161

8. メーカー別不具合情報件数（国産車）は、トヨタ自動車の502 件が全体の22.9%と最も多く、次いで日産自動車477 件、本田技研工業296 件の順となっている。

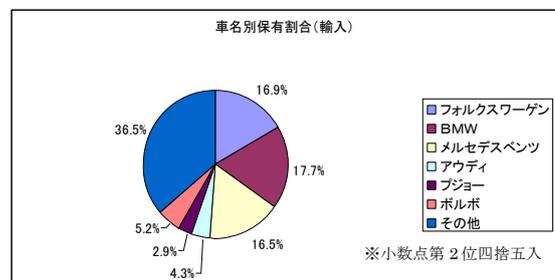
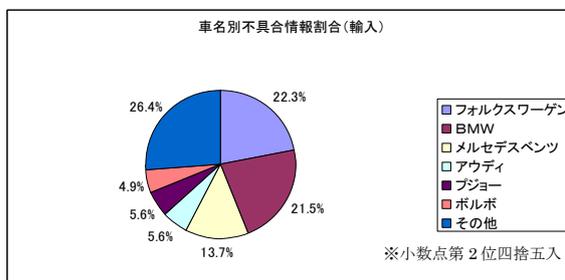
また、メーカー別不具合情報件数（輸入車）では、フォルクスワーゲンの159 件が最も多く、次いでBMW153 件、メルセデスベンツ98 件の順となっている。

これは、自動車保有台数と概ね相関している。



順位	メーカー名	件数
1	トヨタ自動車	502
2	日産自動車	477
3	本田技研工業	296
4	スズキ	202
5	ダイハツ工業	154
6	三菱自動車工業	128
	その他	434
	合計	2,193

順位	メーカー名	台数(千)
1	トヨタ自動車	20,556
4	日産自動車	9,336
2	本田技研工業	10,944
3	スズキ	9,777
5	ダイハツ工業	8,016
6	三菱自動車工業	5,117
	その他	12,341
	合計	76,087



順位	メーカー名	件数
1	フォルクスワーゲン	159
2	BMW	153
3	メルセデスベンツ	98
4	アウディ	40
4	プジョー	40
6	ボルボ	35
	その他	188
	合計	713

順位	メーカー名	台数(千)
2	フォルクスワーゲン	629
1	BMW	657
3	メルセデスベンツ	612
5	アウディ	161
6	プジョー	108
4	ボルボ	192
	その他	1,357
	合計	3,716

(注)：保有台数は、平成23年3月末現在における(財)自動車検査登録情報協会及び(社)全国軽自動車協会連合会の集計数字（小型特殊自動車及び原動機付自転車を除く。）より算出した。